

種ごとの情報公開範囲の検討について

資料_5-1

1 非公開種の選定について

今回調査(夏季専門調査および冬季～夏季市民調査)において新たに見つかった下記表の△にあたる種について、情報公開範囲の案をまとめました。

また、第2回検討委員会終了後の意見収集でいただいた意見を検討案へ反映いたしました。

なお、第2回検討委員会においては、前々回調査および冬季、春季専門調査にて確認された重要種について確認を行いました。

表 自然環境調査における情報公開範囲の設定（前回調査）

情報の 精度	情報公開 範囲	植物			動物	
		環境省 RL 絶滅危惧 II 類 もしくは 千葉県 RDB 要保護生物 (C)		ラン科 及び ユリ科 の重要 種	環境省 RL 絶滅危惧 II 類 もしくは 千葉県 RDB 要保護生物 (C)	
		以上	未満		以上	未満
高	確認された地点が分かる情報 ・図面上に確認地点を明示等	×	×	×	×	×
中	確認された地域が分かる情報 ・地域別種リスト等	×	△	×	△	△
低	今回の調査全体で確認されたかどうか分かる情報 ・18 地域全体の確認種リスト等	○	○	○	○	○

※表中の記号の意味は以下のとおりである。

○…公開

△…自然環境調査検討委員会による選定を受けた種を除き公開

×…非公開

凡 例	
●	前々回調査及び前回調査において、確認された調査地域について非公開とされた種
非	今回新たに確認された種のうち、 確認された調査地域について非公開 とする種
△	今回新たに確認された種のうち、 確認された調査地域について公開 とする種

4 ページ以降において記載しています、非と△の印がついた種の情報公開範囲について、ご検討をお願いいたします。

なお、確認された調査地域について非公開とした種の選定基準は以下のとおりです。

- ・植物は環境省 RL 絶滅危惧 II 類もしくは千葉県 RDB 要保護生物(C)以上の種、ラン科及びユリ科の重要種
- ・前回調査において、委員指摘により非公開とされた種と同様の生態（生息環境）を持つ種
- ・マニア等により盗掘・採集の恐れのある種
- ・愛好家による写真撮影等の行為により、繁殖等に影響が及ぶ恐れのある種（主に鳥類）

そのほか、市民調査でのみ確認された種については詳細な位置情報はなく、調査地域単位での情報となります。

2 委員から受領した意見

本項では、各分類群ごとに委員等から頂いた意見を示します。

なお、委員からの御助言に基づき、千葉県立中央博物館へ種の公開・非公開についての意見を別途伺いました。

2.1 植物

植物については、以下の意見をいただきました。

- ☆ シランについては逸出種であるため公開としていたが、ラン科の生息地の公開は他のラン科の植物にも影響するため、非公開とする。（小野副委員長）

2.2 鳥類

鳥類については、以下の意見をいただきました。

- ☆ ヨシガモについては千葉県レッドデータブックの記載より、非公開とする。（小野副委員長）
- ☆ フクロウについては愛好家による写真撮影等の行為により、繁殖に影響が及ぶ恐れがあるため非公開とする。（小野副委員長、千葉県立中央博物館）

2.3 哺乳類

哺乳類については意見をいただいております。

2.4 両生類

両生類については意見をいただいております。

2.5 爬虫類

爬虫類については意見をいただいております。

2.6 昆虫類

昆虫類については意見をいただいております。

2.7 魚類

魚類については意見をいただいております。

2.8 底生動物

底生動物については、以下の意見をいただいております。

- 々 モノアラガイ、マシジミについては移動能力が乏しく、生息地情報の影響が大きいことから非公開とする。(小野副委員長)
- 々 コガムシについては、昆虫類にて非公開区分に選定されていたため、昆虫類と合わせ非公開とする。(千葉県立中央博物館)

植物

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				市民	非公開
							①	②	③	④		
1	イワヒバ	イワヒバ	カタヒバ	<i>Selaginella involvens</i>	●					C	●	非
2	マツバラン	マツバラン	マツバラン	<i>Psilotum nudum</i>	●				NT	A		●
3	ミズニラ	ミズニラ	ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i>	●				NT			●
4	ウラボシ	チャセンシダ	コバノヒノキシダ	<i>Asplenium anogrammoides</i>	●					D		
5		オシダ	オシダ	<i>Dryopteris crassirhizoma</i>	●					C		●
6	マツ	マツ	ゴヨウマツ	<i>Pinus parviflora</i>	●					A	●	非
7	ヒノキ	ヒノキ	イブキ	<i>Juniperus chinensis</i> var. <i>chinensis</i>	●					(C)		
8	スイレン	スイレン	コウホネ	<i>Nuphar japonica</i>	●					B		●
9	モクレン	モクレン	シデコブシ	<i>Magnolia stellata</i>	●				(NT)		●	△
10	クスノキ	クスノキ	ニッケイ	<i>Cinnamomum sieboldii</i>	●				(NT)			
11	センリョウ	センリョウ	センリョウ	<i>Sarcandra glabra</i>	●					(D)		●
12	ケシ	ケシ	ヤマブキソウ	<i>Hylomecon japonicum</i>	●					B		●
13	オモダカ	サトイモ	ムサシアブミ	<i>Arisaema ringens</i>	●					A	●	非
14		オモダカ	サジオモダカ	<i>Alisma plantago-aquatica</i> var. <i>orientale</i>	●					B		●
15			アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i>	●				NT	C		非
16		ヒルムシロ	ヤナギモ	<i>Potamogeton oxyphyllus</i>	●					D		
17			ササバモ	<i>Potamogeton wrightii</i>	●					D		
18	ユリ	ユリ	カタクリ	<i>Erythronium japonicum</i>	●					C	●	非
19			ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i> var. <i>auratum</i>		●						
20			コオニユリ	<i>Lilium leichtlinii</i> f. <i>pseudotigrinum</i>	●					C		●
21			スカシユリ	<i>Lilium maculatum</i>	●					(C)		非
22			ワニグチソウ	<i>Polygonatum involucratum</i>	●					B		非
23			アマナ	<i>Amana edulis</i>	●					D		●
24			シラン	<i>Bletilla striata</i>	●				(NT)	(D)		●
25	クサスギカズラ	ラン	エビネ	<i>Calanthe discolor</i>	●	●			NT	D		●
26			ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i>	●					D		●
27			キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>	●	●			NT	D		●
28			ササバギンラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i>	●					D		●
29			マヤラン	<i>Cymbidium macrorhizon</i>	●							非
30			サガミラン	<i>Cymbidium nipponicum</i>	●				NT	C	●	非
31			クゲスマラン	<i>Cephalanthera longifolia</i>	●				VU	B		●
32			サイハイラン	<i>Cremastra appendiculata</i>	●					C		非
33			タシロラン	<i>Epipogium roseum</i>	●				NT	C		●
34			ミヤマウズラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i>	●					D		非
35			クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i>	●					C		非
36			コ克蘭	<i>Liparis nervosa</i>	●					D		●
37		アヤメ	アヤメ	<i>Iris sanguinea</i>	●					B	●	非
38		ワスレグサ	ハマオモト	<i>Crinum asiaticum</i> var. <i>japonicum</i>	●					(B)	●	△
39		クサスギカズラ	オオバギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i>	●					D	●	△
40		ホシクサ	クロヒロハイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon robustius</i> var. <i>nigrum</i>	●					C		非
41	ツユクサ	ミズアオイ	ミズアオイ	<i>Monochoria korsakowii</i>	●				NT	D	●	非
42	イネ	ガマ	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>	●				NT	D		●
43			Sparganium属の一種	<i>Sparganium</i> sp.	●				*	*		●
44		ホシクサ	クロヒロハノイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon robustius</i> var. <i>nigrum</i>	●					C		●
45		カヤツリグサ	イトアオスゲ	<i>Carex puberula</i>	●					C		●
46			ヤブスゲ	<i>Carex rochebrunei</i>	●					C		●
47			オオアゼテンツキ	<i>Fimbristylis bis-ambellata</i>	●					C		●
48		イネ	オオニワホコリ	<i>Eragrostis pilosa</i>	●					D		
49			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>		●						
50			ツルヨシ	<i>Phragmites japonicus</i>	●					C		●
51			ヒメウキガヤ	<i>Glyceria depauperata</i>	●					D		△
52			セイタカヨシ	<i>Phragmites karka</i>	●					C		●
53			オオアブラススキ	<i>Spodiopogon sibiricus</i>	●					D		
54												
54	キンポウゲ	メギ	イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum</i> var. <i>thunbergianum</i>	●					D		●
55		キンポウゲ	カザグルマ	<i>Clematis patens</i>	●				NT	B	●	非
56			セリバオウレン	<i>Coptis japonica</i> var. <i>dissecta</i>	●					B		●
57	カツラ	カツラ	カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>	●					B		●
58	ユキノシタ	スグリ	ヤブサンザシ	<i>Ribes fasciculatum</i>	●					B		●
59		ユキノシタ	トサミズキ	<i>Corylopsis spicata</i>	●				(NT)		●	△
60	マメ	マメ	マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i>	●					D		
61			サイカチ	<i>Gleditsia japonica</i>	●					D	●	△
62	バラ	バラ	エドヒガン	<i>Cerasus itosakura</i>	●					A	●	非
63			シロヤマブキ	<i>Rhodotypos scandens</i>	●				(EN)		●	△
64			ハマナス	<i>Rosa rugosa</i>	●					D	●	△
65	ブナ	ブナ	カシワ	<i>Quercus dentata</i>	●					(C)		
66			ウバメガシ	<i>Quercus phillyreoides</i>	●					(B)		
67		クルミ	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>	●					D		
68		ヤナギ	ヤマネコヤナギ	<i>Salix bakko</i>	●					D		

69		カバノキ	アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i>	●					D		
70			ハシバミ	<i>Corylus heterophylla</i> var. <i>heterophylla</i>	●					D		
71	キントラノオ	ヤナギ	イイギリ	<i>Idesia polycarpa</i>	●					(D)		
72			オノエヤナギ	<i>Salix udensis</i>	●					D		
73	フトモモ	アカバナ	ムクゲアカバナ	<i>Epilobium parviflorum</i>	●					B		非
74			ウスゲチョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i> subsp. <i>greatrexii</i>	●				NT			
75	セリ	セリ	ヌマゼリ	<i>Sium suave</i> var. <i>nipponicum</i>	●				VU			非
76	アオイ	アオイ	ハマボウ	<i>Hibiscus hamabo</i>	●					B	●	非
77	アブラナ	アブラナ	コカイタネツケバナ	<i>Cardamine kokaiensis</i>	●				NT			
78			イヌナズナ	<i>Draba nemorosa</i>	●					C		●
79	ミズキ	アジサイ	イワガラミ	<i>Schizophragma hydrangeoides</i>	●							●
80	ツツジ	リョウブ	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i>	●					D	●	△
81		ツツジ	ミツバツツジ	<i>Rhododendron dilatatum</i> var. <i>dilatatum</i>	●					D	●	△
82		サクラソウ	ノジトラノオ	<i>Lysimachia barystachys</i>	●				VU	C		非
83	リンドウ	キョウチクトウ	フナバラソウ	<i>Cynanchum atratum</i>	●				VU	B		非
84		アカネ	ヤブムグラ	<i>Galium niewerthii</i>	●				VU	B		●
85			ハクチョウゲ	<i>Serissa japonica</i>	●				(VU)			
86	ナス	ミツガシワ	ガガブタ	<i>Nymphoides indica</i>	●				NT	C		非
87	シソ	オオバコ	イヌノフグリ	<i>Veronica polita</i> var. <i>lilacina</i>	●				VU			非
88			カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i>	●				NT			
89		ゴマノハグサ	ゴマノハグサ	<i>Scrophularia buergeriana</i>	●				VU	C		非
90		シソ	ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i>		●						
91			コムラサキ	<i>Callicarpa dichotoma</i>	●					(C)		
92			ヒメナミキ	<i>Scutellaria dependens</i>	●					D		
93	フクロソウ	ツリフネソウ	キツリフネ	<i>Impatiens noli-tangere</i>	●					C		非
94	モチノキ	モチノキ	ウメモドキ	<i>Ilex serrata</i>	●					C		
95	クロウメモドキ	クロウメモドキ	クロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> var. <i>decipiens</i>	●					B		非
96	キク	キキョウ	ヒナギキョウ	<i>Wahlenbergia marginata</i>	●					B	●	非
97		キク	センダングサ	<i>Bidens biternata</i> var. <i>biternata</i>	●					D		
98			フジバカマ	<i>Eupatorium japonicum</i>	●				NT	C	●	非
99			オグルマ	<i>Inula japonica</i>	●					D		△
100			カントウタンポポ	<i>Taraxacum platycarpum</i> var. <i>platycarpum</i>		●						
計	36目	57科	100種		96種	6種	0種	0種	29種	83種	21種	72種

- 注1. 種名、科の配列は、山ノ内崇志・首藤光太郎・大澤剛士・米倉浩司・加藤 将・志賀 隆，(2019)「維管束植物和名チェックリストver. 1.10」に主に従った。
- 注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。なお、植栽・逸出種と思われる種については、選定基準記号に () をつけて重要種としてカウントしない。
- ①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)
特天:特別天然記念物、天:天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)
国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種
- ③「第5次レッドリスト (植物・菌類) の 公表について (お知らせ) 」(2025年、環境省)
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群
- ④「千葉県レッドデータブック 植物・菌類編2023年版」 (2025年、千葉県環境生活部自然保護課)
X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物
- ⑤今回指標種
●:該当種
- *Sparganium (ミクリ) 属の一種は、「千葉県の自然誌」によると県内には、オオミクリ、ナガエミクリ、ヒメミクリ、ヤマトミクリ、ミクリの5種あるとされる。
種ごとの重要種カテゴリーは以下の通り、

県内ミクリ属の重要種カテゴリー			
種名	学名	環境省 RDB2025	千葉県 RDB2023
ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>	NT	D
オオミクリ	<i>Sparganium erectum</i> var. <i>macrocarpum</i>	VU	B
ナガエミクリ	<i>Sparganium fallax</i>	NT	A
ヒメミクリ	<i>Sparganium japonicum</i>	NT	A
ヤマトミクリ	<i>Sparganium subglobosum</i>	VU	A

- 注3. 外来種等の選定基準は以下のとおりである。
- ①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)
特外:特定外来生物、条特外:条件付特定外来生物
- ②「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)
外:国外外来種、内:国内外来種
定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種
緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種
- ③外来種
●:「日本の外来種全種リスト - 侵入生物データベース」における定着している種に主に従った。
- ④植栽・逸出種
●:スギ等の植林された種もしくは植栽されたものが逸出した種
一部逸出:コムラサキは過年度リストによると「St. 15の夏季にハンノキ林で確認された以外のものは逸出種の可能性がある。」とある
- 注4. 公開、非公開種については以下のとおりである。
●:前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。
非:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種
△:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種
植栽・逸出は△とした。
- 注5. 市民調査で確認された種については、詳細地点の情報はなく、調査地域単位の情報となる。

哺乳類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	ニホンリス	リス	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>	●					C	△
2	モグラ	トガリネズミ	ジネズミ	<i>Crocidura dsinezumi</i>	●					D	
3	ネズミ	ネズミ	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	●	●				D	
計	3目	3科	3種		3種	1種	0種	0種	0種	3種	0種

注1. 種名、科の配列等は、主に「種の多様性調査(専門家調査)対象種一覧」(1997年、環境省)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

- ①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)
特天:特別天然記念物、天:天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)
国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種
- ③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群
- ④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)
X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

- : 前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。
- 非: 市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種
- △: 市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

鳥類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				市民	非公開
							①	②	③	④		
1	カモ	カモ	ヨシガモ	Mareca falcata	●					B		非
2			オカヨシガモ	Mareca strepera	●					C	●	△
3			スズガモ	Aythya marila	●					D		
4			ホオジロガモ	Bucephala clangula	●					B		
5			ビロードキンクロ	Melanitta stejnegeri	●					B	●	△
6			ウミアイサ	Mergus serrator	●					D	●	△
7	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	Cuculus poliocephalus	●					C		
8	ツル	クイナ	クイナ	Rallus indicus	●					X	●	非
9			バン	Gallinula chloropus	●					B		
10			オオバン	Fulica atra	●					C		
11			ヒクイナ	Zapornia fusca	●				NT	A		●
12	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	Tachybaptus ruficollis	●					C		
13			カンムリカイツブリ	Podiceps cristatus	●					D	●	△
14	チドリ	ミヤコドリ	ミヤコドリ	Haematopus ostralegus	●					A	●	△
15		チドリ	タゲリ	Vanellus vanellus	●					D	●	△
16			ダイゼン	Pluvialis squatarola	●					A	●	△
17			シロチドリ	Charadrius alexandrinus	●				VU	A	●	△
18			コチドリ	Charadrius dubius	●					B		
19		シギ	ダイシャクシギ	Numenius arquata	●					A	●	△
20			チュウシャクシギ	Numenius phaeopus	●					C		
21			ミユビシギ	Calidris alba	●					D	●	△
22			ハマシギ	Calidris alpina	●				NT	B	●	△
23			イソシギ	Actitis hypoleucos	●					A		
24			クサシギ	Tringa ochropus	●					C		
25		カモメ	オオセグロカモメ	Larus schistisagus	●				NT			
26			コアジサシ	Sternula albifrons	●				VU	A		●
27	ペリカン	サギ	ダイサギ	Ardea alba	●					D		
28			チュウサギ	Ardea intermedia	●				NT	B		
29			コサギ	Egretta garzetta	●	●				B		
30	タカ	タカ	ミサゴ	Pandion haliaetus	●				NT	B	●	△
31			ツミ	Accipiter gularis	●					D		
32			ハイタカ	Accipiter nisus	●				NT	B		
33			オオタカ	Accipiter gentilis	●				NT	C		
34			サシバ	Butastur indicus	●	●			VU	A		●
35			ノスリ	Buteo japonicus	●					C		
36	フクロウ	フクロウ	フクロウ	Strix uralensis	●					B		●
37	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	Alcedo atthis	●	●				C		
38	キツツキ	キツツキ	コゲラ	Yungipicus kizuki		●						
39			アオゲラ	Picus awokera	●					C		
40	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	Falco peregrinus	●			国内	VU	A		
41	スズメ	モズ	モズ	Lanius bucephalus		●						
42		カラス	カケス	Garrulus glandarius	●					D		
43			シジュウカラ	Parus cinereus		●						
44		ヒバリ	ヒバリ	Alauda arvensis	●	●				D		
45		ツバメ	ツバメ	Hirundo rustica		●						
46			イワツバメ	Delichon dasypus	●					D		
47		ヨシキリ	オオヨシキリ	Acrocephalus orientalis	●					D		
48		ミソサザイ	ミソサザイ	Troglodytes troglodytes	●					C		
49		ヒタキ	トラツグミ	Zoothera dauma	●					A		
50			キビタキ	Ficedula narcissina	●					A		
51			オオルリ	Cyanoptila cyanomelana	●					B		
52		セッカ	セッカ	Cisticola juncidis	●					D		
53		セキレイ	キセキレイ	Motacilla cinerea	●					B		
54			イカル	Eophona personata	●					D		
55		ホオジロ	ホオジロ	Emberiza cioides	●					C		
56			クロジ	Emberiza variabilis	●					D		
57			オオジュリン	Emberiza schoeniclus	●					D		
計	12目	24科	57種		53種	8種	0種	1種	11種	52種	13種	18種

注1. 種名、科の配列等は、主に「日本鳥類目録 改訂第8版」 （2024年、日本鳥学会）に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、

- LP:絶滅のおそれのある地域個体群
- ④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)
- X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物
- 注3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。
- ①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)
- 特外:特定外来生物、条特外：条件付特定外来生物
- ②「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)
- 外:国外外来種、内:国内外来種
- 定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種
- 緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種
- 注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。
- ：前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。
- 非：市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種
- △：市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種
- 注4. 市民調査で確認された種については、詳細地点の情報はなく、調査地域単位の情報となる。

爬虫類（対象無し）

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	有鱗	イシガメ	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	●				NT	A	
2		スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus japonicus</i>	●				DD	不足	
3		ヤモリ	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>	●					D	
4		トカゲ	ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>	●	●				B	
5		カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>	●	●				D	
6		ナミヘビ	ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>	●					B	
7			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	●					D	
8			シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	●					C	
9			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari</i>	●					D	
10			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	●					D	
11			クサリヘビ	<i>Gloydus blomhoffii</i>	●					B	
計	2目	7科	11種		11種	2種	0種	0種	2種	11種	0種

- 注1：種名、科の配列等は、主に「日本産爬虫両生類標準和名リスト」（2024年3月11日、日本爬虫両棲類学会）に従った。
- 注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。
- ①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)
国内：国内希少野生動植物種 国内(特一)：特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二)：特定第二種国内希少野生動植物種 緊急：緊急指定種
- ③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)
EX：絶滅種、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧I類、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)
X：消息不明・絶滅生物、A：最重要保護生物、B：重要保護生物、C：要保護生物、D：一般保護生物、不足：情報不足
- 注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。
- ：前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。
- 非：市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種
- △：市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

両生類（対象無し）

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準					非公開
							①	②	③	④	⑤	
1	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	<i>Bufo formosus</i>	●					C		
2		アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	●	●				A	○	
3			トウキョウダルマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	●	●			NT	B	○	
4		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	●					D		
計	1目	4科	4種		4種	2種	0種	0種	1種	4種	2種	0種

注1. 種名、科の配列等は、主に「日本産爬虫両生類標準和名リスト」（2024年3月11日、日本爬虫両棲類学会）に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」（1950年、法律第214号）

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）

国内：国内希少野生動植物種 国内（特一）：特定第一種国内希少野生動植物種 国内（特二）：特定第二種国内希少野生動植物種 緊急：緊急指定種

③「環境省レッドリスト2020の公表について」（2020年、環境省）

EX：絶滅種、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧I類、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」（2019年、千葉県環境生活部自然保護課）

X：消息不明・絶滅生物、A：最重要保護生物、B：重要保護生物、C：要保護生物、D：一般保護生物

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●：前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。

非：市 民調査地域（前々回調査）、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△：市 民調査地域（前々回調査）、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				市民	非公開
							①	②	③	④		
1	トンボ	イトトンボ	ホソミイトトンボ	<i>Aciagrion migratum</i>	●					B		
2			ムスジイトトンボ	<i>Paracercion melanotum</i>	●					B		
3		アオイトトンボ	アオイトトンボ	<i>Lestes sponsa</i>	●					C		
4			サナエトンボ	<i>Asiagomphus pryeri</i>	●				NT	B		●
5			ウチワヤンマ	<i>Sinictinogomphus clavatus</i>	●					D		△
6		ヤンマ	アオヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i>	●				NT	B		
7			クロスジギンヤンマ	<i>Anax nigrofasciatus nigrofasciatus</i>	●					D		
8			カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>	●					B		●
9			ヤブヤンマ	<i>Polycanthagyna melanictera</i>	●					D		
10		オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>		●						
11		トンボ	ハラビロトンボ	<i>Lyriothemis pachygastra</i>	●					B		
12			チョウトンボ	<i>Rhyothemis fuliginosa</i>	●	●				D		
13			コノシメトンボ	<i>Sympetrum baccha matutinum</i>	●					D		△
14			リスアカネ	<i>Sympetrum risi risi</i>	●					B	●	△
15			アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>		●						
16	カマキリ	カマキリ	オオカマキリ	<i>Tenodera aridifolia</i>		●						
17	バッタ	バッタ	ツマグロバッタ	<i>Stethophyma magister</i>	●					D		
18		クツワムシ	クツワムシ	<i>Mecopoda niponensis</i>	●					C		
19	カメムシ	キジラミ	エノキカイガラキジラミ	<i>Celtisaspis japonica</i>					NT			△
20		コオイムシ	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	●				NT			
21		ナガカメムシ	ヒメマダラナガカメムシ	<i>Graptostethus servus</i>	●					D		
22			ヒメジュウジナガカメムシ	<i>Tropidothorax belogolowi</i>	●					D		
23		ツチカメムシ	シロヘリツチカメムシ	<i>Canthophorus niveimarginatus</i>	●				NT			△
24			ヨコヅナツチカメムシ	<i>Adrisa magna</i>	●					C		
25		カメムシ	ルリクチブトカメムシ	<i>Zicrona caerulea</i>	●					C		
26		ツノカメムシ	オオツノカメムシ	<i>Acanthosoma giganteum</i>	●					D		
27	コウチュウ	ハンミョウ	コハンミョウ	<i>Cicindela specularis</i>	●					C		
28		オサムシ	ヒメマイマイカブリ	<i>Carabus(Damaster) blaptoides oxuroides</i>	●					D		
29			オオサカアオゴミムシ	<i>Chlaenius pericallus</i>	●				DD	C		
30			オオキベリアオゴミムシ	<i>Epomis nigricans</i>	●					D		
31			タナカツヤハネゴミムシ	<i>Anisodactylus andrewesi</i>	●				DD	C		△
32		ゲンゴロウ	マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i>	●			国内(特二)	VU	B		●
33		ミズスマシ	オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i>	●				NT	C		●
34		ガムシ	コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>	●				DD	D		●
35		シデムシ	ベッコウヒラタシデムシ	<i>Eusilpha brunneicollis</i>						D		△
36		クワガタムシ	ノコギリクワガタ	<i>Protopocoilus inclinatus</i>		●						
37		タマムシ	ヤマトタマムシ	<i>Chrysochroa fulgidissima fulgidissima</i>		●						
38		ホタル	ヘイケボタル	<i>Aquatica lateralis</i>	●	●				C		
39		ハムシ	キアシネクイハムシ	<i>Donacia bicoloricornis</i>	●					C		
40			スゲハムシ	<i>Plateumaris sericea</i>	●					C		
41	ハチ	コンボウハバチ	ホシアシブトハバチ	<i>Agenocimbex jucunda</i>	●				DD			
42		コマユバチ	ウマノオバチ	<i>Euurobracon yokohamae</i>	●				NT	C		
43		セイボウ	オオセイボウ	<i>Stibum cyanurum pacificum</i>	●				DD			
44		ドロバチ	キボシトックリバチ	<i>Eumenes fraterculus</i>	●					C		
45		ハキリバチ	クズハキリバチ	<i>Megachile pseudomonticola</i>	●				DD			
46		スズメバチ	モンスズメバチ	<i>Vespa crabro flavofasciata</i>	●				DD			
47	シリアゲムシ	シリアゲムシ	ヤマトシリアゲ	<i>Panorpa japonica</i>	●					D		
48	ハエ	ハナアブ	キヒゲアシブトハナアブ	<i>Parahelophilus citricornis</i>	●					B		
49	チョウ	セセリチョウ	ギンイチモンジセセリ	<i>Leptalina unicolor</i>	●				NT			
50			ミヤマチャバネセセリ	<i>Pelopidas jansonis</i>	●					C		
51			オオチャバネセセリ	<i>Polytrems pellucida pellucida</i>	●					B		△
52		アゲハチョウ	ナガサキアゲハ	<i>Papilio memnon thunbergii</i>		●						
53		シジミチョウ	ミドリシジミ	<i>Neozephyrus japonicus</i>	●					C		
54			ミヤマシジミ	<i>Plebejus argyrognomon praeterinsularis</i>	●				EN			●
55		タテハチョウ	ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>		●						
56			ミスジチョウ	<i>Neptis philyra excellens</i>						C	●	△
57			コムラサキ	<i>Apatura metis substituta</i>	●					C		
58			ゴマダラチョウ	<i>Hestina japonica japonica</i>	●					C		
59			アカボシゴマダラ名義タイプ亜種	<i>Hestina assimilis assimilis</i>		●						
60		ヤガ	コシロシタバ	<i>Catocala actaea</i>	●				NT			
61			キシタアツバ	<i>Hypena claripennis</i>	●				NT			
計	9目	38科	61種		50種	10種	0種	1種	19種	42種	2種	15種

注1. 種名、科の配列等は、主に日本産野生生物目録 -本邦産野生動植物の種の現状- 無脊椎動物編Ⅱ」（1995、環境庁）に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)

特外:特定外来生物、条特外：条件付特定外来生物

②「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)

外:国外外来種、内:国内外来種

定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種

緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●：前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。

非：市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△：市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

注4. 市民調査で確認された種については、詳細地点の情報はなく、調査地域単位の情報となる。

魚類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ	スナヤツメ類	<i>Lethenteron sp.</i>	●				VU	A	●
2	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	●				EN	C	
3	コイ目	コイ科	ギンブナ	<i>Carassius sp.</i>	●					D	●
4			アブラボテ※2	<i>Tanakia limbata</i>	●				NT		
5			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	●					D	
6			ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	●					C	●
7			ツチフキ※2	<i>Abbottina rivularis</i>	●				EN		
8		ドジョウ科	ドジョウ類※1	<i>Misgurnus anguillicaudatus sp.complex</i>	●				(NT/DD)		●
9		フクドジョウ科	ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	●				EN	C	●
10	ナマズ目	ナマズ科	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	●					B	●
11	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	●				VU	B	非
12	スズキ目	ハゼ科	ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	●					D	
計	6目	8科	12種		12種	0種	0種	0種	7種	9種	7種

注1. 種名、科の配列等は、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和5年度生物リスト)」(2023年、国土交通省)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③「環境省レッドリスト20の公表について」(20年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、

LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編29年改訂版」(29年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●:前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。

非:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

※1 ドジョウ類は「ドジョウ」または「キタドジョウ」のいずれかであるが、確認個体が雌であり、同定形質が不明瞭であったため「ドジョウ類」とした。

なお、③の選定基準において「ドジョウ」はNT、「キタドジョウ」はDDに該当する。

※2 アブラボテ、ツチフキは国内移入種と考えられるため、公開とした。

底生動物

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
								①	②	③	④	
1	腹足綱	新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>	●	●			VU	D	
2				ヒメタニシ	<i>Sinotaia histrica</i>		●					
3	二枚貝綱	汎有肺目	モノアラガイ科	モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i>	●				NT	A	●
4		イシガイ目	イシガイ科	タテボシガイ	<i>Nodularia nipponensis</i>	●					D	
5		イシガイ	イシガイ	イシガイ	<i>Unio douglasiae nipponensis</i>	●					D	
6		マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ	<i>Corbicula leana</i>	●				VU	A	●
7	軟甲綱	エビ目	ヌマエビ科	ミゾレヌマエビ	<i>Caridina leucosticta</i>	●					A	●
8			テナガエビ科	テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>	●					D	
9				スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	●					D	
10			サワガニ科	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>	●					C	●
11			モクズガニ科	モクズガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	●					D	
12	昆虫綱	トンボ目	イトトンボ科	セスジイトトンボ	<i>Paracercion hieroglyphicum</i>	●					B	●
13			ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ	<i>Aeschnophlebia anisoptera</i>	●				NT	B	●
14				カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>	●					B	●
15			サナエトンボ科	キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i>	●				NT	B	●
16				オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	●					B	●
17				ホンサナエ	<i>Gomphus postocularis</i>	●					B	非
18				ウチワヤンマ	<i>Sinictinogomphus clavatus</i>	●					D	△
19			オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>		●					
20			トンボ科	ハラビロトンボ	<i>Lyriothemis pachygastra</i>	●					B	△
21				アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>		●					
22				マイコアカネ	<i>Sympetrum kunkeli</i>	●					D	
23		カメムシ目	コオイムシ科	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	●				NT		
24		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	<i>Cybister chinensis</i>	●			国内(特二)	VU	X	●
25				マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i>	●			国内(特二)	VU	B	●
26				コマルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus acuminatus</i>	●				NT	B	非
27			ミズスマシ科	オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i>	●				NT	C	●
28			コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	<i>Haliphus sharpi</i>	●				VU	B	●
29			ガムシ科	コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>	●				DD	D	●
30			ゾウムシ科	ウキクサミズゾウムシ	<i>Tanysphyrus brevipennis</i>	●					B	●
計	4綱	9目	20科	30種		27種	4種	0種	2種	12種	26種	19種

注1. 分類、配列等は、主に「河川水辺の国勢調査 令和6年度生物リスト」（令和6年、水情報国土データ管理センター）に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)

特外:特定外来生物、条特外:条件付特定外来生物

②「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)

外:国外外来種、内:国内外来種

定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種

緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●:前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。

非:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回夏季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種